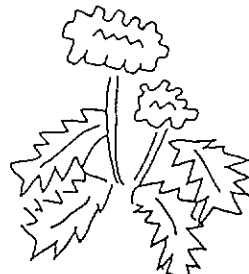


たんぽぽ

NO 176
H14年2月1日
一発行一
〒869-1217
熊本県菊池郡
大津町森54-2
社会福祉法人
三気の会
三気の星
☎096-293-8100



ち亡国の儀につき質問書」を提出する。

一、民ヲ殺スハ国家ヲ殺スナリ
法ヲ蔑ニスルハ国家ヲ蔑スルナリ

皆自ラ国ヲ毀ツナリ

財用ヲ濫リ民ヲ殺シ法ヲ乱

シテ而シテ亡ビザルノ国ナ

シ、之ヲ奈何

右質問ニ及候也(八二五頁)

同日行われた右の質問の理由演

説で正造は、現在「亡国テアル」理

由を鉅毒事件発生以来の政府の暴

策と対応不備を一つ一つ指摘しな

がら説明し、国家や政府について

「我日本ガ亡国ニ到ッテ居ル、政府

ガアルト思フト違フノデアル、国

ガアルト思フト違フノデアリ(八

二五頁)、「政府ト云フモノハ集ツタ

集合体ノ上デ、知ラズ織ラズ悪イ

コトニ陥ッテ行クノハ、是ハ政府

ガ悪ルイ」(八二五頁)と批判した。

(書くことが思い浮かばず、苦慮

しているおり、私が少しばかり勉

強した田中正造のことが無性に書

きたくなりました。フードファイ

ターなる劣悪なる番組をみて、日

本は亡国であると思つたことから

田中正造①

施設長 松田 健

田中正造の闘いは当初明治憲法
枠内での合法的闘争であった。一
八九八年九月二六日、第三回大挙
上京請願が行われるが、東京都淵
江村保木間において正造は、民衆
の動向を制止し、代表五〇名以外
は帰途につくように促す。

正造の中で自己変革の意識が芽
生えるのは、一九〇〇年二月十二
日の第四回大挙請願中におこった、
いわゆる川俣事件によってである。

一隊の憲兵巡査は突如として
藪陰より躍り出でて途を遮り、
洋刀を以て突き立て、靴にて
蹴倒し、拳を固めて乱打し、
土砂を投げ掛け、負傷して倒
るるものを捕縛する時、一時
の大笑鬨を惹起し、被害民は
遂に十数名の負傷者を出して
退却するに至れり。(荒畑寒

村『谷中滅亡史』)

警察隊員三〇〇名、憲兵数十名

が、被害民を武力によって弾圧し、
50余名が負傷し、永島与八らリ
ーダー一〇〇余名は逮捕され、凶
徒囂聚罪を以て六八名が起訴され
た。

こうした「戦場のごとき」状況
に直面した正造は、憲法に対して
懐疑の念を募らせる。彼は、自由
民権期の闘争において、明治政府
の欺瞞に満ちた抑圧的政策にあい、
人権を保障する価値尺度として明
治憲法になみなみなならぬ期待をこ
めた。しかし、足尾鉍毒問題の闘

いを通じて、憲法は民衆を何ら数
護するものでなく、むしろ搾取す
るものに過ぎぬと理解する。「然
からざれば憲法ありといえども死
法に過ぎざるなり。憲法死法にし
て国家の活発を得んとす、木に魚
を得るより危し」(田中正造全集

九巻一二七一頁。以下同様に記す。)

くみられる。

鹿野政直氏が正造は「法の枠を
必ずしも絶対視しなかつた」(

「田中正造その人民国家の構想」

『展望』二十四号)と述べており、

また、家永三郎氏が、正造は、帝

国憲法の枠の内にありながら、広

義の法理念を追い求めることによ

り、日本国憲法に横たわるものに

到達できたと言っているが(「田

中正造全集」月報九「日本国憲法

の先駆」)、川俣事件の以前、以

後という一線を画するべきである。

以後であれば、両氏のいうように

正造は、法の枠を越えた新たな価

値尺度を模索しており、また、帝

国憲法そのものに対しては、晩年

谷中において全面否定をなしてい

る。こうした憲法観の変化が彼の

国家観・平和観を決定的に転換さ

せた。

一九〇〇年二月十七日、正造は
「亡国に到るを知らざれば之れ即

す。いずれにせよ何の脈絡もない文を書いたことをお詫びします。個人的には性懲りもなく続きをいつの日にか載せたいと思っています。()

初詣で

井手美有紀



一月二日、私たちは大津町にある日吉神社で手を合わせました。そんな中、ある人がおみくじを引いたので、「大吉」を引いた彼女は恋愛運最高！皆に自慢をしていた矢先、手からおみくじがポトリ、不吉…。そんな彼女が木におみくじを結んでいると、ビリッ。またまた不吉…。落ち込んだ彼女は破れたおみくじお守りに入れ、それを大事に持ち歩く事にしました。しかし安心したのもつかの間、そのお守りをどこかに落としてしまったのです。今年って一体…。

※この話は実話です。



4 班・大事な役割

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ致します。あっと言う間に冬休みも終わり、農耕班のみんなは寒〜い北風にも負けず、外作業に励んでいます。

浩一さんは、冬休み中、家族全員の布団の上げ下ろしや新聞をポストから取ってくるお手伝いを毎日欠かさずに行いました！御両親はとても助かったそうです。

三気の里では「新聞！！」と元気な声と共に職員室にやって来て夕刊を届けてくれる方がいらっしゃいます。その方は…そうです！浩一さんが届けてくれているのです。毎日、夕刊が配達される時間になると必ず外に出て待っています。新聞配達の方もよくご存じのようで、ポストではなく浩一さんに新聞を渡してくれます。新聞を受け取ると一目散に職員室へ。その場で新聞を読むことはなく、新聞を届けることが目的で、自分の役割と思っているようです。

浩一さん、いつもありがとうございます！

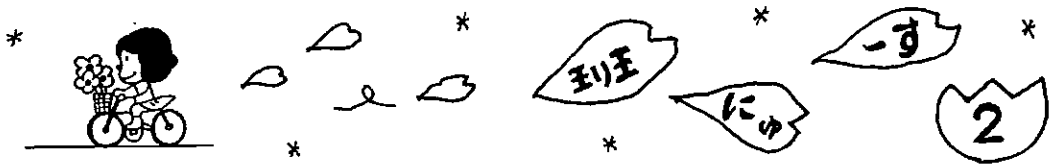
P. S 森川さんより堆肥をいただきました。ありがとうございました。

石田

6 班・寒いのに「アツウツ！」

寒いです。本当に寒いです。2、3日このまま春になるのではないだろうか、思われる日々もあったのに、このところの寒いこと寒いこと、もう何度雪を見たでしょう。我が6班は朝からの仕分け洗濯干しも天気とのにらめっこ。この寒空の中、洗濯物を干すのはなかなか厳しいものがあるのです。パートの方と富田さん、松島さんは寒い中大変な作業です。しかし、仕分けの人達も大変なんです。冬の洗濯物の量といったら半端なものではありません。かさ張るものが多く、あふれんばかりの洗濯物がカゴからはみ出る物もあれば、黒っぽい衣類が多く、名前がなかなか見つけられずイライラ、大変難航な作業です。何といっても一番大変なのが静電気との戦いです。カートの中から絡み合った洗濯物を外すその瞬間、「ビリッ」という静電気。「アツウツ！」と洗濯物を手から離し、ドキドキ！ヒヤヒヤ〜次からカートになかなか手を入れることが出来ず、誰かが入れるのを待っていたりしています。恐る恐る再度カートに手を入れると又、「うわお！」。それを何度か繰り返すうちに、あまりの洗濯物の大量さにそれどころではなくなり、「あつう」「うわお」と言いながらも次々こなしている仕分け班。どなたか、静電気対策法をご存じの方、ぜひ教えて下さい。

八木



3班・「出来ました！！」

寒い日が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

木工製品の作成過程の一つにサンドペーパーがけがあります。木工製品独自の温もりを伝えるためには、欠かせない大変重要な作業です。3班にはサンドペーパーがけを行うメンバーが、5人いますがその中でリーダー的な存在なのが、希久男さんです。暑い日も寒い日も変わる事なく黙々とサンドペーパーがけに取り組み、自分の仕事に納得がいくまで行っています。そんな希久男さんですが、今年度に入りますます、頑張りをを見せています。それはペーパーがけが終わった後「出来ました」と職員に知らせ、製品をチェックしてもらうことです。シャイな彼ですので、始めはなかなか言えなかったのですが、やり取りをしていく中で次第に自信がついたようで、積極的になりますます頑張るようになりました。

こんな素敵なおメンバーが手作業で作成している3班の製品が、多くの人の手に渡るよう私たち職員も市場開拓に頑張っていこうと思う新年です。

岩本

2班・花物語

またまた寒い毎日が舞い戻ってきた今日この頃…。皆様寒さに負けてはいませんか？北風と一緒に悪い菌は拭き飛ばしましょう！（…まずは意気込みから）

先日、由布子さんのもともと嬉しい知らせが！園芸班から「花苗をあげるの由布子さん植えてみないかなあ〜？」という暖かいお言葉をいただいた。以前から土や花を触ったり、見たりするのが大好きな由布子さん。新棟玄関前の花壇の草むしりをしたり（時には花を抜くこともあったが…☹）土を嬉しそうにさわったりしていた。今回念願の自分のプランターが持てる。早速、園芸班のハウスに花苗（ビオラとパンジー）・プランター・スコップを取りに行き、一緒につくり始めた。鼻歌を歌い、大満足な由布子さん。スコップの使い方もとても上手で驚かされた。2つのプランターが完成し、これから育てていく。いつか花が咲くのがとても楽しみである。これから由布子さんの花物語が始まっていく…🌸つづく

江藤

5班・人気です！

園芸班でつくっている人気の花苗は、ビオラやパンジーですね。まだ花はついてなかったのですが、あの温泉で有名な岩戸の里から「ビオラを150ポット欲しいです」との有り難いお話がありました。しかもそれを定植してくださいとの仕事の依頼までしていただきました！日ごろの皆さんの岩戸の里でのボランティアワークの頑張りをみていてくれたのでしょう。ボランティアワークでは主に草取りやゴミ拾いと、岩戸の里の環境整備をしているのですが、最近は寒さとの戦いです。ゴミを拾うにも、身を縮ませながら拾っています。しかし、人の役に立つことができるっていいものですね。一日使ってお弁当を持って行った日があったのですが、その日は5班のメンバーもボランティアワークをしているんだとの充実感があり、皆さん良い表情をしていたように思います。これをはじめとして、色々なところから引っ張りだこ…なんてと夢を描いてしまいます。夢で終わらせないためにも続けていきたいです。まあ、まずは、岩戸の里に行ってみてください。もれなく園芸班生まれのビオラが皆さんの目を楽しませてくれると思います。ぜひ見てください！

木佐貫



班 ニュース ・ 3

1班・今年もよろしくお願ひします！

明けましておめでとうございます。冬休みをのんびり、楽しく過ごしたのもつかの間！やっぱり大人はツライです。“仕事始め”が年明け早々待っており、皆さん“私は休みボケで…”なんて言い訳する暇もなく、内職の仕事やボランティアワークに励んでいます。自分も『一社会人』である、という自覚をもって…。しかし、この不況の中、内職の仕事を頂けていることだけでも感謝しなければいけないのかも、と思う今日この頃です。（できればモットモット仕事がほしい！のが本音ですが）ともかくにも、2002年が始まりました。世の中では暗いニュースが続いていますが、平和な生活を送ることができている私たち1班は幸せです。“前向きに明るく”進んでいき、三気の里を盛り上げていきたいと思ひます！それでは、今年もよろしくお願ひします。

平山



地域交流支援

大石 由紀

相変わらず寒い毎日が続いていきます。皆様お変わりなくお過ごしでしょうか？地域交流支援の係では、開園祭後より多くの方にお声をかけて頂き、新年早々より活発な活動が始まっています。2月には、大津南小学校の有志の方々と結成されている「4R白川」のリサイクル活動に初参加させて頂き、3月には大津南小3年生との音楽交流会も予定されています。本当に盛りだくさんです。これを機に、多くの利用者の方が地域活動に参加し、生活の場が広がっていくことができればと願って止みません。ところで、このようにして我々職員も地域の方々とお話しする機会が増えた訳ですが、改めて三気の周囲（地域）の方々のご理解の深さ、心の温かさを感じる事が出来ました。そして、地域が一丸となって多くの活動をなさっているお姿を拝見し、大変心強く感じました。故・田中施設長が、三気を建てるための土地を探されたとき、この土地に出会い「神様が残してしてくれた場所だ」とお話し

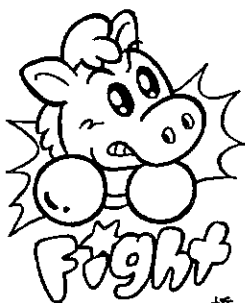
やいました。この土地の方々の人柄・懐の深さも、きくと感じていたからこそのお言葉だったのかもしれない！改めて、感謝の気持ち一杯です。これを無駄にしないよう、これからも頑張っていきたいと思ひます。



事務日より

新しい年をむかえて皆様、いかにお過ごしでしょうか？私は、愛犬と供に初日の出を見ようと雨の合間をぬって散歩に出掛けて輝かしい初日を見る事が出来ました。

三気のカレンダーのように三気の仲間が一人一人の長所を生かし、短所を補い一つの和になって激動の世を翔けますように事務員として、出来る所をやって行こうと思ひます。今年も足りない所は、教えて下さい。悪いところは、注意して下さい。宜しくお願ひします。



橋口

コミュニケーション

田邊 剛政

まず、コミュニケーションとは、特定の他者にメッセージを伝えたり、他者が伝えてくれるメッセージを解釈したりする行為であり、そこには「伝え合う」という相互作用が含まれる。

自閉症の方たちのコミュニケーションの特徴は、この相互作用（表現性のコミュニケーションと受容性（理解）のコミュニケーション）がアンバランスであるということです。

表現性のコミュニケーションが育っていないならば、例えば、今度駅伝があるのでその代表選手に選ばれました。選ばれた時点で「走らない」と言えればよいのですが、A君は言えなくて練習に参加、徐々に落ち着きがなくなりイライラし始める。又、B君は担当や同じ班の職員など特定の人（この場合駅伝とは関係のない職員）には言えるが選考した職員には言えないため、服破りや、他傷をしたりし始める。表現性のコミュニケーション

ンが育っていないためにそういった状況になってやっとならから外されるわけです。しかもその状況を職員が理解してあげられなかった場合はもっと悲惨な状況になっていく訳です。選ばれたときにちょっとでも意思表現があれば免れられる訳です。

次に受容性（理解）のコミュニケーション。例えば、朝の掃除のとき、今までは雑巾を洗うときバケツの回りを人が取り囲んでいて積極性のない人はいつまでも洗えないという状況でした。それで縦一列に並ぶよう指導を始めたのですが、理解できる人は2回目から並びますが、分からないC君は、何回やっても人を追い越して洗おうとします。

若い職員の感想は、「色んなことが出来るし日課も分かっているようだし出来ると思ったのですが」ということでした。いままでやってきて何も注意されなかったことを急に「ダメ」と言ってもなかなか通じません。耳からだけ入る情報を理解することが難しい場合もあります。言葉の理解が乏しくても状況判断や話し手の身振りや表

情を理解して行動出来てしまう人もいます。こういう人は「言葉が分かっている」と誤解されてしまいます。C君の場合、言葉や状況判断の理解に乏しいと言えます。また、パターンを変えられない、変えれないタイプだと思えます。コミュニケーションを指導するとき、表現性が受容性どちらを優先して指導するかは個々に合わせていくしかありませんが、両方のコミュニケーションの力を伸ばすことと自主性、自立性が伸びたり、

自他の区別がつきやすくなります。わたしたち指導する側は利用者が、他者との関わりに楽しさや喜びを味わえるように援助していかねればなりません。

それでは職員と利用者のコミュニケーションはどうでしょう。指導はある意味一方的にならざるを得ませんが、相手をちゃんと理解して指導しているのでしょうか。C君の場合のように「出来る」「分かっている」という思い込みをしていないでしょうか。利用者の方たちの発しているコミュニケーション（サイン等）を見落とさないででしょうか。それよりも、

職員はコミュニケーションを取ってくれる相手になり得る存在でしょうか。相手を知る、理解することと表現方法も変わってきます。そういった作業を怠っていないで

利用者の方たちにコミュニケーションを教えることも大事ですが、まずは職員と利用者のコミュニケーションを密にして信頼関係を築き指導しやすい、指導されやすい関係になればもっと上を目指した指導が出来るのではないのでしょうか。

三気の里メールアドレス紹介

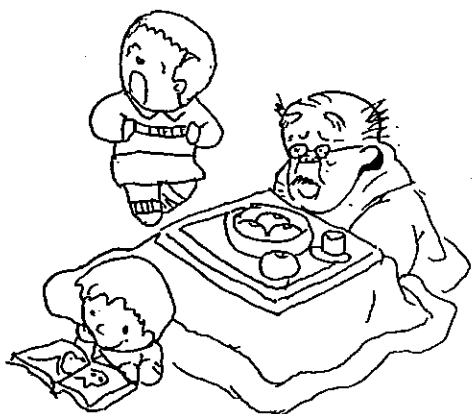
三気の里についてのご意見、要望その他何でも結構ですのでぜひメールをお送り下さい。

E-mail :
sanki@siren.ocn.
ne.jp



食生活改善中

2002年、元旦。今年、厳しい寒さの一日となりました。今まで勤めていて、初めての正月一人出勤で、少々緊張しました。昼のメニューは、お寿司・オードブル・雑煮でした。寒いので、コタツのある宿直室で食べることになり、皆一緒に過ごす事が出来て楽しそうでした。少しですが、正月らしさを味わってもらえたのではないのでしょうか。本年も美味しい食事作りを頑張りますので、よろしくお願いします。 金丸



後援会募集のご案内

三気の里では、後援会を募集しています。御入会頂いた方には、毎月発行している機関紙「たんぼ」をお送り致します。

振振り込み先

口座番号

0197018114902

社会福祉法人 三気の会後援会

保護者会代表 魚谷 秀文 宛

住所

熊本県菊池郡大津町森54-12

一口 3千円

団体は、一万円より

後援会ありがとう



- 福岡 壮一・増田 英宏
- 佐藤 正雄・秋田 敏晴
- 秦 潤子・那須 二郎
- 高橋 尚樹・押川 淳子
- 前田 克英・松田 敏子
- 白石 美穂 ※敬称略

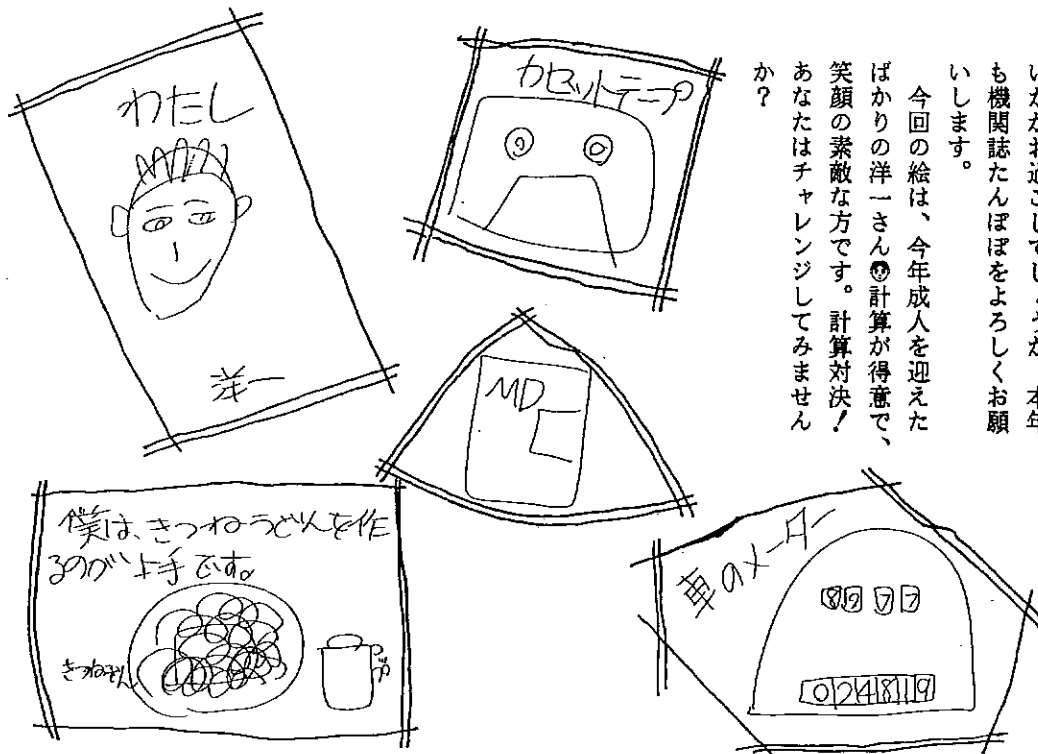


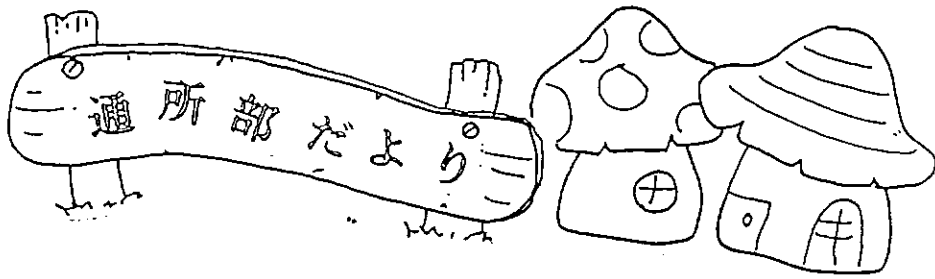
辞のん気・こん気・げん気

コーナー差

新しい年になりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。本年も機関誌たんぼをよろしくお願ひします。

今回の絵は、今年成人を迎えたばかりの洋一さん計算が得意で、笑顔の素敵な方です。計算対決！あなたはチャレンジしてみませんか？





2月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
① 2日、3日、10日、11日、16日、17日、23日、24日 休						1
② 9日 保護者会 ③ 11日 健闘記念日 ④ 21日 レク						2 ⑤ 休み
3 ⑥ 休み	4	5	6	7	8	9 ⑦ 保護者会
10 ⑧ 休み	11 健闘記念日 ⑨ 休み	12	13	14	15	16 ⑩ 休み
17 ⑪ 休み	18	19	20	21 ⑫ レク	22	23 ⑬ 休み
24 ⑭ 休み	25	26	27	28		



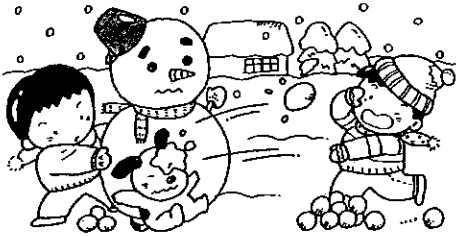
通所部通信

大騒ぎしたミレニアムイベントから早1年、あっと言う間でしたね。皆さんは2002年どういった年にしたかとお考えですか？個人的には、ソルトレイクオリンピック、ワールドカップサッカー日韓共催と、スポーツも楽しみな1年になりそうですね。(前置きが長くなりましたが)通所部では年末から年始に掛けていくつかの变化がありました。まず年末、岩下さんが9月で退職された後、引き継いで一緒に活動してもらっていた岩田指導員が、急遽三気の家に戻られることになり、保護者の方にとっても残念がられていたが、女性が好きな利用者の人は密かに喜んでいたかもしれません。(男性の私が言うなっ！て感じですが...)

年が明けて13日が高森さんの19歳の誕生日、翌14日に田口さんが成人式でした。田口さんはバッチリの格好(お母さん談)で参加で

きたようです。写真を見せてもらうのを楽しみにしています。通所部では15日にレクリエーションに出掛けたときのおやつ時に、ケーキとコーヒード2人のお祝いをしました。(高森さんは自宅で沢山ケーキを食べていたからでしょうか？、なぜか2色アイスでしたが...)次に、24日に園田さんが誕生日で、高森さんと同じ19歳になりました。折角だからとその日に誕生会を設定して、みんなでケーキを購入に行き、高森さんと2人のお祝いをしました。2002年をお祝い続きでスタートした通所部、今年1年みんながどんな成長を見せてくれるのか、とても楽しみです。

木下



2月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土	備考
☺ 岩永さん・森川さん・荒牧さん・明日香さん・神沢さんお誕生日おめでとう! ☺ 9日 保護者会 ✂ 20日 たんぼ編集日 ☺ 21日 誕生会 ☺ 23日 帰宅バス ☺ 24日 大津ジョギングフェスティバル					1	2	
3	4	5	6	7	8	9	☺ 保護者会
岩永さんの誕生日(35) 森川さんの誕生日(31)			☺ 1班レク				
10	11 同建園記念日	12	13	14	15	16	
荒牧さんの誕生日(32)				☺ 6班レク			
17	18	19	20	21	22	23	☺ 帰宅バス
		☺ 5班レク	✂ タンボ編集日 明日香さん誕生日(24)	☺ 誕生会 ☺ 4班レク			
24	25	26	27	28			
ジョギングフェスティバル		☺ 2班レク	☺ 3班レク 神沢さんの誕生日(57)				



(ボランテアありがとうございます)
 ☆クリスマス会 秦 潤子
 (敬称略)

ボランテア通信
 新しい年を迎え、三気の里の利用者も気持ちも新たに作業に日々励んでいます。
 昨年は多くのボランテアの方々に支えられながら一年を楽しく過ごすことができたわけですが、今年はずっと私達の利用者を知ってもらいたい三気の里を知ってもらいたいと思っています。是非、イベントや作業に参加してみませんか?年齢、性別は問いません。(社会人の方、大歓迎)興味のある方はボランテア担当(石井、井手、石田、阿南)まで御連絡下さい。
 阿南

サンタが三気の里にやって来た
 菊池 優香
 12月の21日、トナカイの引くソリにプレゼントを積んで三気の里にサンタがやって来ました。一人一人プレゼントを手にしての反応は：様々でしたが、皆さん御馳走とプレゼントを前に一足速いクリスマスを楽しんでいたようです。また今年も、大津南小学校の可愛いサンタさんからも、利用者一人一人へクリスマスカードのプレゼントを頂きました。
 終わった途端、来年のプレゼントのリクエストを考えている人がいたとか…。

編集後記

いつも『たんぼ』を温かく読んでいただきありがとうございます。先日利用者を連れて通院にかけると、看護婦さんが「たんぼを読みましたよ。毎月お疲れさまです。」と声をかけていただきました。なんとも嬉しい一瞬です。たんぼは編集員である私はちょっと誇らしげに、お礼を言いました。これからも末長くよろしくお願ひします。たんぼ編集員：E